

# 個性的な 作品たち

今年2月に塔本シスコの孫の福迫弥麻さんから宇城市に寄贈された15作品の中から4作品を紹介します。

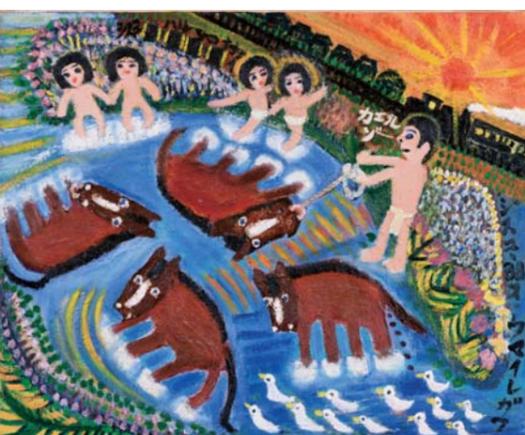
## 寄贈作品リスト

- 1 五色山の思い出/1988年
- 2 古里の家(シスコ、ミドリ、シユクコ、ミア、ケンサク)/1988年
- 3 シャク取り(不知火海にて)/1989年
- 4 ふるさとの海 不知火海 潮まねきカニ /1993年
- 5 七夕の朝 きれいな髪になるように /2000年
- 6 オノダチの大運動会 /2001年
- 7 ウマイレガワ /2001年
- 8 古里の家 /2003年
- 9 もらったラン、もらったシクラメン /1996年
- 10 名月 大正十年の十五夜 /1994年
- 11 フレ川綱引き /2003年
- 12 古里の家、ザボンの木 /1995年
- 13 松橋のおもいで カニ /1998年
- 14 長浜の貝堀 2 /1987年
- 15 不知火 長浜の朝 /1987年



古里の家(シスコ、ミドリ、シユクコ、ミア、ケンサク) / 1988年

着物姿の子ども時代のシスコさんと妹、洋服姿の孫たち。時空を超えて、絵の中で一緒に遊んでいます。家の窓には、さまざまな生活の思い出も描き込まれています。



ウマイレガワ / 2001年

一日の農作業が終わり、夕方に川で馬を洗う、その横で遊んだ思い出が描かれています。4頭の馬は、1頭の馬がくるくと動き回っている様子を表現しています。



シャク取り(不知火海にて) / 1989年

親戚と一緒にして楽しかったシャク取りの思い出をシスコさんが76歳の時に描いています。波が文様のように表現されているのも注目ポイント。中央の二人のうち、右側の海藻を持ってる人がシスコさんです。



本紙表紙はコレ

フレ川綱引き / 2003年

小学校4年生頃に東松崎地区で行われていた十五夜の綱引きの思い出。90歳になって描きました。ワラで編んだ綱を輪にして蛇の口に見立て、村中の人々と輪の中に入った月を見上げています。

展示企画 / 不知火美術館

塔本シスコさんの作品も展示  
熊本市現代美術館で開催中  
G3-Vol.149 CAMK コレクション  
「目の部屋と手の部屋」展覧会  
期間 5月14日(土)まで  
入場料 無料



熊本市現代美術館 HP

## アーティストとワークショップを体験 企画展には子どもたちの作品も

3月14日、シスコさんが通っていた豊川小で5年生を対象に、絵本作家の荒井良二さんと作曲家の野村誠さんによるシスコさんを題材にしたワークショップが開催されました。

「満月」をテーマに子どもたちが制作した絵は企画展でも展示。子どもたちとシスコさんの出会いをご覧ください。



## 不知火美術館2023年春の企画展

### おかえりなさい、シスコさん —— 100年前の松橋を旅する

4月15日(土)~6月15日(日) 9時~18時(土は21時まで)

ゲストアーティスト 荒井良二(絵本作家)、野村誠(作曲家)、itiiti(プロダクトデザイナー)  
入場料 一般 300円、大学・高校生 200円、中学生以下 無料

#### 関連イベント

#### シスコラボ! スタジオ みんなで展覧会をつくろう

展示を彩るパーツや音楽を作ります。参加申し込みは不要です。

日時 4月5日(土)~9日(日) 13時~18時

会場 展示室、アトリエ(小)

講師 野村誠、itiiti ほか

参加費 無料

#### オープニングトーク

シスコさんってどんな人?

日時 4月15日(土) 13時30分~15時

会場 ブック&カフェエリア

出演 福迫弥麻、坂本顕子

参加費 無料

※事前予約優先



不知火美術館 HP

